

## 図書館だより 2022年5月

資料利用係(riyou@nichibun.ac.jp)

## 図書館向けデジタル化資料送信サービスの変更点

## ■ 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス利用条件変更について(5/1～)

図書館向けデジタル化資料送信サービスは、令和3年の著作権法改正により、2022年5月1日から「絶版等資料の複製における調査研究目的・著作物の一部分」という要件がなくなり、「利用者が自ら利用するために必要と認められる限度において複製可能」となります。これにより、「全体の半分以下」という条件がなくなります。※カウンターでのお申込みは従来通り必要です。

## ■ 「個人向けデジタル化資料送信サービス」開始(5/19～)

「個人向けデジタル化資料送信サービス」が2022年5月19日から開始されます。これまで図書館の専用端末でしか閲覧できなかった「図書館向けデジタル化資料送信サービス」対象の資料を、ご自身のパソコン等を用いて国立国会図書館デジタルコレクション上で閲覧できるサービスです。またサービス開始当初は閲覧のみですが、2023年1月を目途に印刷機能も提供予定です。利用できる方は、国立国会図書館の「個人の登録利用者」のうち、日本国内に居住している方です(個人送信の利用規約への同意が必要)。「個人の登録利用者」の申請方法は以下のページをご覧ください。なお、このサービスの開始と同時に、インターネットからの登録も可能となります。「個人の登録利用者」になるには：<https://www.ndl.go.jp/jp/registration/index.html#anchor01>  
国立国会図書館のお知らせ：[https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2021/220201\\_01.html](https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2021/220201_01.html)

## 高島華宵大正ロマン館所蔵近代日本大衆雑誌画像 DB の公開

2022年3月に「高島華宵大正ロマン館所蔵近代日本大衆雑誌画像データベース」を公開しました。高島華宵大正ロマン館が所蔵する明治末期から昭和初期に刊行された大衆雑誌37種405冊のうち、表紙・目次・口絵・裏表紙などのメタデータとそのIIIF画像約2,000点を掲載しています。画像を中心とするデジタル化資料を相互運用かつアクセス可能とするための国際的な枠組みであるIIIF(International Image Interoperability Framework)を採用しています。

高島華宵大正ロマン館所蔵  
近代日本大衆雑誌画像データベース  
Database of Visual Images in Modern Japanese Popular Magazines from the Kasho Museum Collection

URL: <https://iiif.nichibun.ac.jp/TKB/>



## OPACのオンライン版へのリンクの位置変更

日文研 OPAC では、日文研所蔵資料がオンラインでも利用できる場合、その URL も併せて載せるようにしています。2022年4月より、従来ページの下部に表示されていて少し見えづらかったリンクをページ上部にも表示させ目立つようにしました。



2022.5.1